

学術・調査委員会

平成 30 年度活動報告・令和元年度活動計画

令和元年 6 月 16 日

担当理事・委員長：木下義晶

副委員長：足立壮一

委員：米倉竹夫、家原知子、今井耕輔、川井章、師田信人、大喜多肇、笹原洋二、古賀友紀、安井昌博

菊田敦（オブザーバー、福島問題担当）

田尻達郎（オブザーバー、疾患委員会固形腫瘍担当）

本委員会は小児血液疾患及び小児がん領域の疾患登録に関わる実務、および、疾患委員会と連携して調査研究の推進を執り行うことを目的に活動する。

活動内容

1) 「20 歳未満に発症する血液疾患と小児がんに関する疫学研究」を小児がんに関する他登録事業（日本小児外科学会悪性腫瘍登録、小児がん全国登録）と統合し、JCCG 固形腫瘍観察研究とも連携する新規登録システムとして構築し、2018 年症例からの症例登録が始まった。2018 年症例については 2019 年 5 月 31 日に登録を締切った。今後初年度の状況を確認の上、解析を行っていく予定。

2) 疾患登録集計報告（2014～2016 年症例）を日本小児血液・がん学会雑誌 55 巻第 5 号へ掲載した。2017 年症例に関しては 2018 年 11 月の学術集会にて集計結果についてポスター発表し、現在原稿を作成中。

3) 委員数定数不足の疾患小委員会の（造血細胞移植委員会、再生不良性貧血・MDS 委員会、止血・血栓委員会、白血病・リンパ腫委員会、組織球症委員会）の委員選考を行った。

4) 厚労科研令和元年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業「小児・AYA 世代がん患者のサバイバーシップ向上を志向した妊孕性温存に関する心理支援体制の均てん化：研究代表者 鈴木直」）に関する、本学会としての協力体制についての審議を行った。

5) 厚生労働科学研究班「全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究班（平田班）へ小児がんに関連する学会として出席し、情報交換を行っている。

令和元年度の活動計画

- 1) 新登録事業の初年度の状況の確認、解析
登録率を上げるための方策、システムに関する問題点の検討など
登録内容の解析項目
- 2) 2018年症例の学術集会報告、学会誌報告、およびホームページ掲載
- 3) 関連班研究との連携